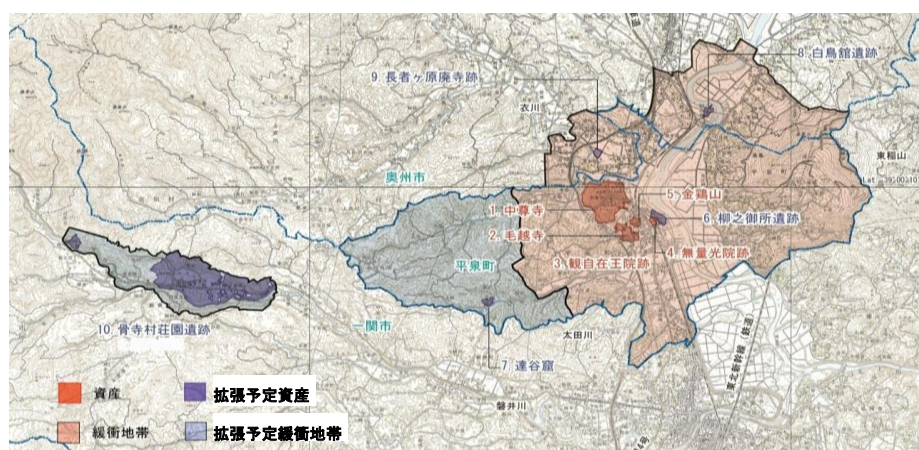


報告事項(2) 「平泉の文化遺産」の拡張登録に向けた取組について

1 概要

(1) 平成24年9月、「平泉 - 仏国土（浄土）を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群 -」（拡張）が世界遺産暫定一覧表に記載された。

拡張登録の対象として想定している資産は、柳之御所遺跡、達谷窟（以上、平泉町）、白鳥館遺跡、長者ヶ原廃寺跡（以上、奥州市）、骨寺村荘園遺跡（一関市）の5資産。



(2) 拡張登録のためには、新規登録と同様の手続きが必要。

- ア 推薦書案・保存管理計画の作成、改定
- イ 文化審議会世界文化遺産特別委員会による国内審査（1件/年）
- ウ ユネスコへ推薦書等を提出
- エ イコモスによる現地調査
- オ イコモス勧告
- カ 世界遺産委員会における決議（承認、情報照会、延期、不承認）

2 拡張登録への取組み

- (1) 県・一関市・奥州市・平泉町は、集中的な調査研究を実施すること、必要な史跡等の追加指定等を行うことなどを申し合わせ。（平成24年10月）
- (2) 県及び関係市町では、「平泉の文化遺産世界遺産拡張登録検討委員会」（現在委員等9名）等の指導助言を得ながら、平成25年度から5か年の調査研究計画案を策定。
- (3) その計画に基づき、拡張登録のために検討が必要とされる課題に対して、個別資産の調査研究を進めるとともに、テーマごとの研究集会を毎年度開催する。平成27年度においては、「アジアにおける平泉文化」をテーマに研究集会を開催した。

平成 27 年度「平泉の文化遺産」拡張登録に係る研究集会

主 催 岩手県教育委員会・一関市教育委員会・奥州市教育委員会
・平泉町教育委員会

開催日 平成 27 年 11 月 14 日（土）・15 日（日）

開催場所 奥州市役所江刺総合支所

テーマ 「アジアにおける平泉文化」

平成 27 年 11 月 14 日（土）

事務局報告 アジアにおける平泉文化

報 告

考古学からみた「平泉」における文化的伝統の形成

佐川正敏 氏（東北学院大学）

東・北アジアにおける古代庭園と平泉文化 劉海宇 氏（岩手大学）

東・北アジアにおける仏教的世界観の形成と仏国土（浄土）

末木 文美士 氏（前国際日本文化研究センター）

東・北アジアにおける地域権力拠点の形態 高井康典行 氏（日本大学）

「平泉」の文化的領域 佐藤 弘夫 氏（東北大学）

時代区分論からみた「平泉文化」 小島 毅 氏（東京大学）

平成 27 年 11 月 15 日（日）

討 論

討議題 1：アジア史において「平泉文化」はどのような独自の特徴をもつ文化として説明できるか

討議題 2：「都市」平泉と「平泉文化」との関係、都市領域の概念

討議題 3：理想郷としての「平泉」の東・北アジア史的位置づけ

まとめ

※研究集会は研究者・専門家を対象とし、一般に対しては、「平泉文化フォーラム」（第 16 回、平成 28 年 1 月 30 日～31 日、於：一関文化センター）において成果等の公表を行った。

平成 28 年度「平泉の文化遺産」拡張登録に係る研究集会

主 催 岩手県教育委員会・一関市教育委員会・奥州市教育委員会
・平泉町教育委員会

開催日 平成 28 年 12 月 3 日（土）・4 日（日）

開催場所 平泉町内

テーマ 「奥州藤原氏がつくりあげた理想世界」（仮）